

2016年11月2日(水)発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol.20

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト(2016年10月)
- 2 特集1 連結子会社の数・セグメント数
- 3 ワンポイント開示会計問題演習 「連結貸借対照表関係1」
- 4 特集2 収益認識基準(2)
- 5 児玉厚の開示川柳「有用で 効率的な 開示とは？」
- 6 編集後記

【PR】

新発想の予算作成システム「予算会計エクスプレス」リリース
<https://www.3cc.co.jp/system/top.php>

1 会計ニュースダイジェスト(2016年10月)

- 1) 短信「サマリー情報」様式使用強制撤廃へ(10月28日)
(決算短信・四半期決算短信の様式に関する自由度の向上について
意見募集期限:2016年11月27日)

<http://www.jpjx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d1/20161028-01.html>

- 2) ASBJなど、「中小企業の会計に関する指針」改正案を公表(10月28日)
(中小企業の会計に関する指針作成検討委員会(日本税理士会連合会、
日本公認会計士協会、日本商工会議所、企業会計基準委員会)
意見募集期限:2016年11月28日)

(日本税理士会連合会)

<http://www.nichizeiren.or.jp/whats-new/p161028/>

(日本公認会計士協会)

http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized_field/20161028uqq.html

(日本商工会議所)

<http://www.jcci.or.jp/>

(企業会計基準委員会)

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/press_release/domestic/sme27/

- 3) 株懇、企業と投資家の建設的な対話に向け提案 (10月24日)
(提案書「企業と投資家の建設的な対話に向けて
—対話促進の取組みと今後の課題—」)

<http://www.kabukon.tokyo/>

- 4) 金融庁、平成28事務年度の金融行政方針を公表 (10月21日)

<http://www.fsa.go.jp/news/28/20161021-3.html>

- 5) IFRS Taxonomy Illustrated が HTML 化 (10月20日)

<http://www.ifrs.org/Alerts/XBRL/Pages/New-content-and-improved-user-navigation-for-the-IFRS-Taxonomy-Illustrated-in-HTML.aspx>

- 6) 金融庁、2017年版 EDINET タクソノミ (案) を公表 (10月14日)
(意見募集期限: 2016年11月14日)

<http://www.fsa.go.jp/search/20161014.html>

- 7) 指定 IFRS・JMIS 改正案公表 (10月13日)
(意見募集期限: 2016年11月11日)

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20161013-1.html>

- 8) ASBJ、のれん及び減損に関する定量的調査の結果を公表 (10月3日)
(リサーチ・ペーパー第2号「のれん及び減損に関する定量的調査」)

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/iasb/discussion/discussion_research/20161003.shtml

— 【PR】 —

スリー・シー・コンサルティングの有価証券報告書等チェックリスト
開示書類の訂正防止にこの1冊
<http://www.3cc.co.jp/kaiji/checklist.php>

2 特集1 連結子会社の数・セグメント数

わが国には多くの会社が上場していますが、その規模はさまざまです。

決算業務において連結決算作業は大きなウェイトを占めるため、その効率化を

図ることが決算業務全体の早期化のカギになると考えられます。

しかし、会社の規模、事業内容、連結子会社の数、海外子会社の有無によって連結決算作業のポイント、効率化へのアプローチも異なってくるでしょう。

そこで、そもそも日本の上場会社は連結子会社をいくつ抱えているのか、海外子会社はあるのか、またセグメントはいくつあるのか、その基礎的なデータをここにご提供したいと思います。

* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

3 ワンポイント開示会計問題演習

* メルマガ読者にのみ公開しています。

4 特集2 収益認識基準（2）

前号では IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」の概要、及び同基準を早期適用している楽天株式会社の開示例をご紹介しました。

今号では、仮に IFRS 第 15 号と同一の内容がわが国に適用された場合の論点を、事例を通じてご紹介します。下記資料をご覧ください。

* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

5 児玉厚の開示川柳

* 児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による「開示川柳」をお届けしております。

「 有用で 効率的な 開示とは？ 」

以前、上場会社の経理の方と頻繁に開示実務の意見交換会を行った。

そこで一番ヒートアップするのは「監査法人に対する不満」だった。
「重箱のスキのような問題を取り上げて、あ～だこ～だと言ってきて、夜遅くまで監査して、あげくに時間スライドで監査報酬の増額を要求してくる・・・」

一方、難関の会計士試験を受かって希望を持って監査法人に入ったが、監査の現実にウンザリし監査法人を辞めてゆく若い会計士が増えているという。

この事態は会計業界にとって不幸なことである。

* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

6 編集後記

* メルマガ読者にのみ公開しています。

メルマガの登録変更及び購読解除について

当メルマガの登録情報のご変更や購読解除をご希望の方は、
以下のアドレスより手続きをお願いします。

(登録情報のご変更)

<https://1lejend.com/stepmail/edit.php?no=xxzzkh>

(購読解除)

<https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=101100>

メルマガの記載内容等に関するお問い合わせ

当メルマガの記載内容等に関するお問い合わせがございましたら、
以下のメールアドレス又は電話番号よりご連絡願います。

kaijikaikei@3cc.co.jp

TEL : 03-6863-7208 (担当 : ディスクロージャーサービス戦略室)

発行 : 株式会社スリー・シー・コンサルティング
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階
URL : <http://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.